

令和5年度 第50期生 学生による学校運営評価

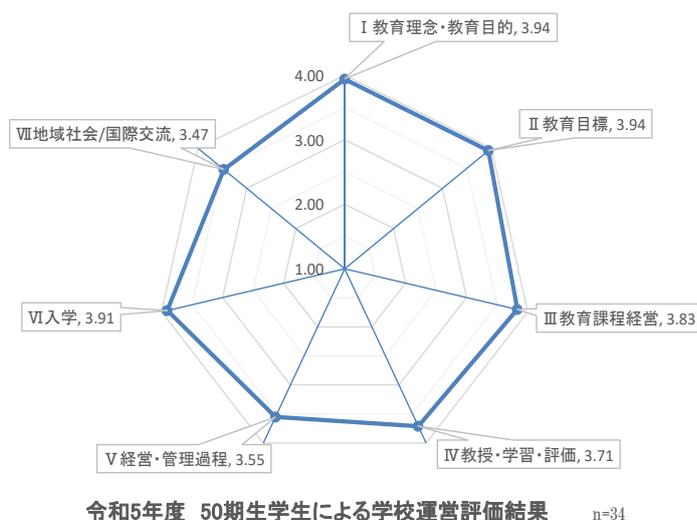
1 実施方法

「看護教育自己評価指針」に基づき、9 カテゴリー中7 カテゴリー16 項目について、第50期生（3年生）34人を対象として評価を実施しました。回収率は100%でした。

評価は、「とてもそう思う」（4点）、「どちらかといえばそう思う」（3点）、「どちらかといえばそう思わない」（2点）、「全く思わない」（1点）として集計し、各カテゴリーの平均点を求めました。

2 実施結果

カテゴリー	点数
I 教育理念・教育目的	3.94
II 教育目標	3.94
III 教育課程経営	3.83
IV 教授・学習・評価	3.71
V 経営・管理過程	3.55
VI 入学	3.91
VII 地域社会/国際交流	3.47



集計の結果、7 カテゴリーのうち「VII 地域社会/国際交流」を除いた項目の平均点は、3.5以上の高評価でした。VII以外は、令和2年度の評価結果より上昇しています。

次に、学生評価の中で低い結果となった3項目「IV 教授・学習・評価」「V 経営・管理過程」「VII 地域社会/国際交流」についての要因を分析しました。

「IV 教授・学習・評価」のカテゴリーでは、教員により実習評価基準の認識の差異があるとの意見が多く、実習ルーブリックの共通理解が十分でなかったことが考えられました。

「V 経営・管理過程」のカテゴリーでは、購買設備の整備を望む意見が多く、コロナ禍による隣接病院内のコンビニエンスストアの利用停止を命じたことが要因と考えられました。

「VII 地域社会/国際交流」のカテゴリーは、7 カテゴリーの中で最も評価が低く、コロナ禍によるハワイ研修の中止を理由とした意見が多くありました。本校への入学動機がハワイ研修とする学生が多い中、ハワイ研修の中止が低評価の要因になったと考え

られました。

3 今後の取り組み課題

1) 「IV 教授・学習・評価」

- ・実習ルーブリックの作成及び運用にあたり、教員間での協働や共有のあり方について見直しを行い、「学生の目指す姿」を学生及び教員全員が一致したものとなるようにしていきます。

2) 「V 経営・管理過程」

- ・隣接病院のコンビニエンスストア利用について、利用ルールを整えた上で、再開にむけて検討します。

3) 「VII 地域社会/国際交流」

- ・ハワイ研修は、これまで「国際看護」の科目に組み入れて行っていましたが、令和4年度から運用開始となった新カリキュラムより、時間数の関係上、組み込んでいません。よって、他の方法での国際交流や地域交流を通して学生の満足度を上げる工夫を行っていきます。